

【2日目 / 5月23日 (つづき)】

今日は石垣島近傍の3つの離島を巡る日帰り旅行です。乗船する時刻は決まっているし、西表島では団体バスや仲間川の遊覧船にも乗ります。石垣島を出るとコンビニは一軒もありません。



離島ターミナルの売店は充実しています。売店というよりも小さなスーパーみたいな感じで、お菓子からちょっとした生活用品まで売っています。私が乗る船は観光客だけでなく、離島に住んでいる方も乗るので、ここで足りないものを買物をする方も結構いるのだそうです。私も若干の「行動食」と「沖縄風の折り畳み傘」を購入しました。



出航までまだ時間があつたので、ターミナルの2階に併設されている「尖閣諸島情報発信センター」に寄ってみました。領土問題で揺れている尖閣諸島は現在「国有地」ですが、行政区画では「石垣市」に所属しています。住居表示は「沖縄県石垣市登野城尖閣 (とのしろせんかく)」、郵便番号も「970-0031」が割り振られていますが、もちろん郵便物は届きません。



尖閣諸島情報発信センターには、諸島の歴史や写真、模型などが展示されています。この「墓標」のようなものは、本来尖閣諸島の各島に設置されるはずの「石標」だそうですが、諸事情でいまだ設置には至っていないそうです。

大変貴重な情報発信のスペースなのですが、残念ながら私以外には興味を持った人はいないようで、他には誰もいませんでした。



この日最初に乗ったのは、石垣港発・大原行の「うみかじ号」です。大原というのは、西表島の港の一つです。特に「今からご乗船の改札を開始します」といったアナウンスはなく、何となく乗ったら、もう結構満員になっていました。



青いシート of 座席が並んでいて、昔の青函連絡船の「普通椅子席」を思い出しました。



乗船したのは高速船（ジェットホイル）なので、航行中に上甲板に出ることはできません。これは窓から撮った石垣島遠望です。高速船なので、どんどん島影が小さくなっていきました。



この日の海上は比較的穏やかだったのですが、それでも「うねり」があり、結構酔いをして乗客もいました。およそ 50 分で西表島の大原港に着きました。幸い雨は降っていませんでした。



ここからは観光バスです。大型バスに 20 人ぐらいの乗客だったので、一番前に乗らせてもらいました。港の近くの「大原交差点」は、「日本最南端の信号」だそうです。西表島よりも南にも「黒島」や「波照間島（はてるまじま）」など、いくつかの離島がありますが、これらの離島には信号機がないので、ここが日本最南端なのだそうです。



大原交差点の近くには「西表大原郵便局」があります。西表島には2つの郵便局がありますが、残念ながらどちらも「日本最南端の郵便局」ではありません。日本最南端の郵便局は、波照間島にある「波照間郵便局」です。



郵便局も赤レンガの沖縄風なのですが、おもしろいのはレンガの端に「Tマーク」がついていることです。バスの運転士さんが教えてくれました。スウェーデンでは郵便局はどんどん廃止され、大きな街に行かないと見つかりません。しかし日本では小さな村や島にも必ず郵便局があるのは、すばらしいことです。



港から 10 分ほどで「仲間川の船着き場」に到着しました。ここからは、西表島の代表的な景観である「マングローブの森」を川面から観望するために、ボートに乗るのです。とても楽しみです。